# 黒木西

黒木西小
学校だより

文責:校長　齋藤英義

令和3年4月22日（木）
NO.02

先週（16日）のPTA総会へのご出席ありがとうございました。当日は、急な時程変更にもかかわらず、96%のご家庭に出席いただき、学校への期待の表れであると受け止め、更に気を引き締めているところです。

◆さて、早いもので、来週（5月1日）はスポーツ集会。ただ今、スポーツ集会に向けて子どもたちも職員も一丸となってがんばっています！

◆そんな姿を見ながら、私は四年前のこと（秋山前校長とともに教頭で赴任した時のこと）を思い出しながら運動場東側ネットに絡みついたつる植物（ツタ）の撤去作業を行いました。

◆思い起こせば四年前。赴任した当時、運動場東側のフェンスは、つる植物に覆われ、反対側が見えない状態でした。そこで、学校敷地内外からの見通しを良くし、「人の目」を確保することで死角をなくしたいと考え、秋山校長と二人、ツタの撤去作業を始めたのでした。

【４年前のイメージ写真】

◆ところが今年度、四年前よりは明らかに植物の量が減っていました。後でわかったことですが、学校敷地東側の民家の方が農作業が忙しくなる前の冬場に刈り取っていたのでした。つまり、「このままほったらかしにしていたら、おそらく手がつけられないほどツタが繁茂するであろうと見越し、時期に入る前に、ツタの芽を確実に除去していただいた」ことで、比較的ツタの少ないフェンス状態となっていたようです。

【After】

【Before】

◆そう考えているうちに、私が初めて管理職（教頭）になった時、「齋藤先生、これば忘れちゃいかんばい。」と、上司にいただいた言葉を思い出しました。

◆上農はそろそろ生えてくるだろうという頃合いで、土をかいて根を断ち切り除草するのだそうです。中農は草が生えてから除草を始める。下農は草が生えてきてもとろうとしない。もはや耕作放棄です。

◆「やるべき時に、やるべき内容を確実に…」行っておかないと、後々大変なことになってしまうというこ　となのだなと、あらためて痛感した次第です。

◆これは、子どもの躾（しつけ）においても言えることではないでしょうか。

◆子どもにともに賢明で雑草は早く取り除く土壌づくりを育てるために、子どもの育つ土壌にわずかな雑草とはいえ害もの健全な成長をげるもの、子どもの考えること全般にいえることだと思います。

◆中農でも、下農にはならないよう、気がついたら、できるだけ早く対応しなければいけません。

◆影響を少なくするためには、用事付き合いがあるのは無理なことです。完全に活動を停止するのではなく、ど　うしても、横断歩道は歩行者優先

## 横断歩道は歩行者優先です

道路交通法の条文には、「横断歩道や自転車横断帯に近づいたときは、横断する人や自転車も、書かれた学校へのいけ安全配慮をお願いたします。

横断歩道や自転車横断帯に近づいたときは、横断する人や自転車も、書かれた学校へのいけ安全配慮をお願いたします。

横断歩道や自転車横断帯に近づいたときは、横断する人や自転車も、書かれた学校へのいけ安全配慮をお願いたします。

## 上農の教え

上農は、草を見ずして草を取る
中農は、草を見てから草を取る
下農は、草を見て草を取らず

上農の素晴らしさは、
自分のすべきことを知り、
何事も先延ばしにすることなく、
他人のせいにせず、
先を見越して物事に当たることである。